

R6年度 学校評価アンケートの結果と考察

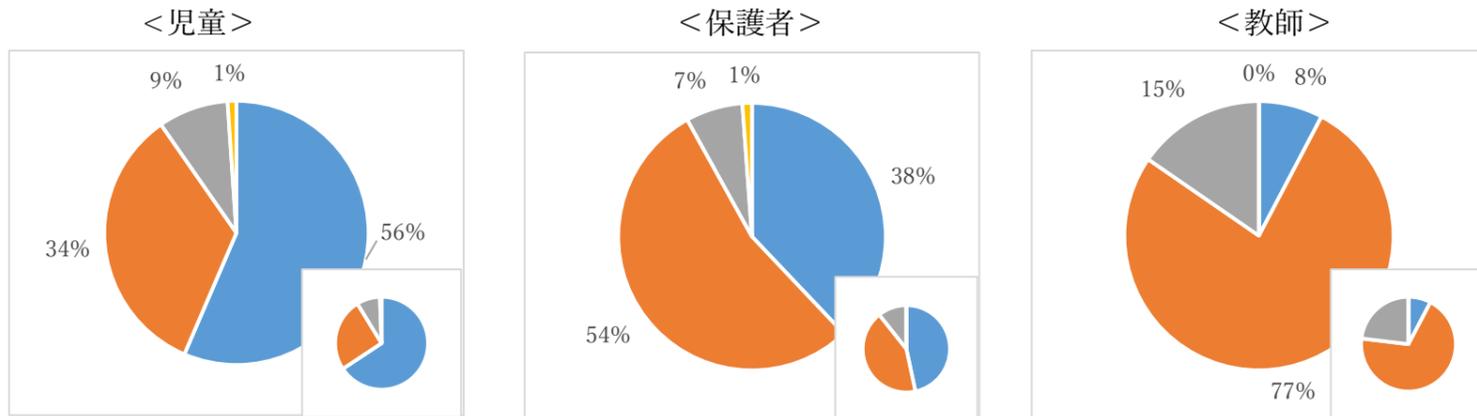
令和6年12月実施

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

心身ともに健康で力いっぱいがんばる子 ～校訓「つよく」～

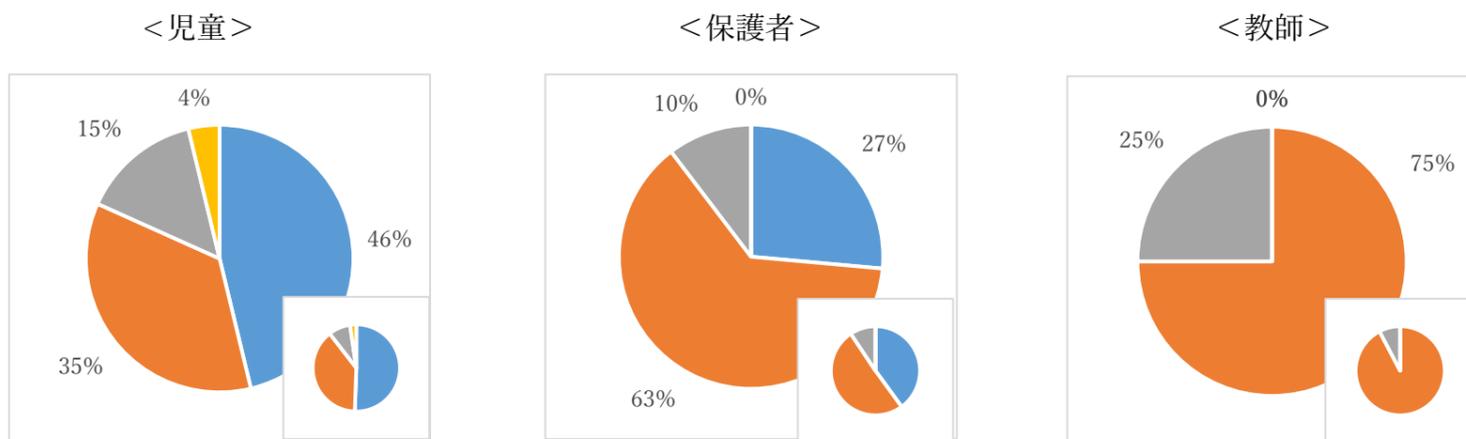
◇ 元気な挨拶や返事ができる。(児童・保護者・教師)

※ 小さな枠内のグラフは同質問の前期分



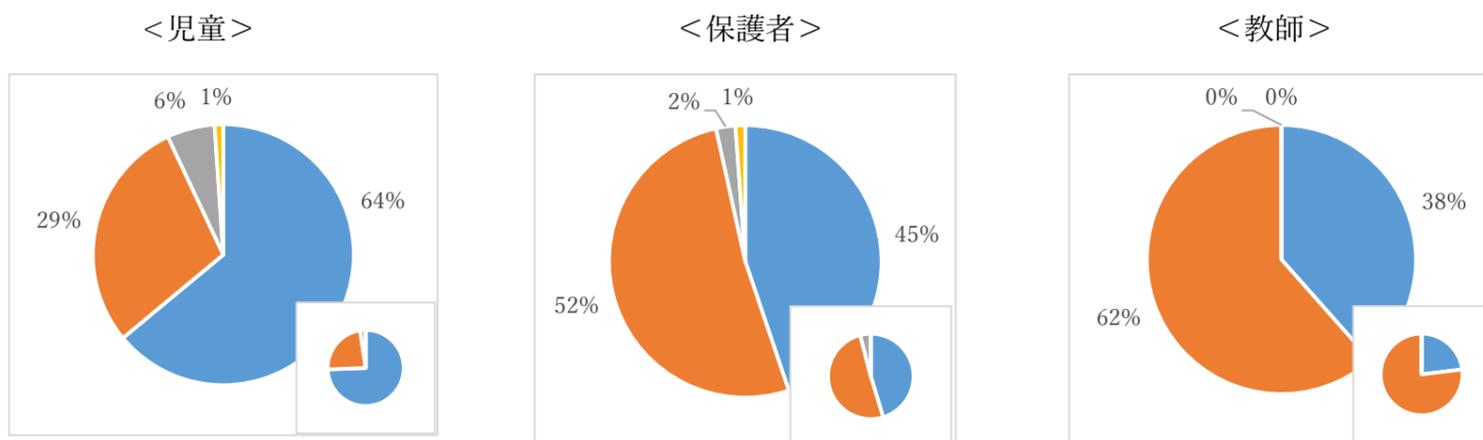
- ・ 前期に比べ、教師側の肯定的な意見が改善傾向にある。一方で、保護者・児童の「よくできている」割合が減少している。
- ・ 児童は挨拶や返事ができていると捉えているが、周りは「もう少しがんばってほしい」と感じていることが分かる。
- ・ 今後も引き続き「よい挨拶」の姿について、共通認識を図っていく必要がある。

◇ 基本的な生活習慣が身に付いている。(児童・保護者・教師)



- ・ 生活習慣が、「ほぼ身に付いている」と判断している保護者は、9割を超えている。
- ・ 「よくできている」と判断した教師の割合が0%であり、啓発の仕方や共通認識の在り方について再考が必要である。
- ・ 基本的な生活習慣が「あまり身に付いていない」と感じている児童が2割近くおり、相談や指導が必要である。

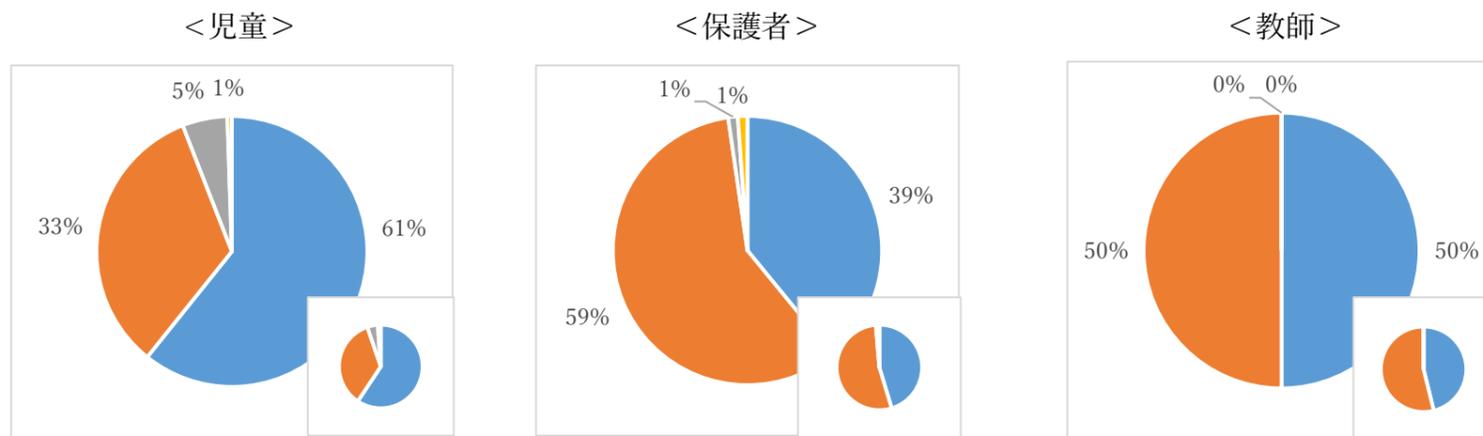
◇ 学校行事に進んで参加している。(児童・保護者) 学校行事の工夫・改善をしている。(教師)



- ・ 3者とも、肯定的に捉えている意見が9割を超え、各行事について満足感を感じている。
- ・ 行事を楽しみにしている児童は多いが、一定数、苦手意識を感じている児童がいることが分かる。
- ・ 今後も行事精選に取り組むとともに、変更点や改善点を周知する方法や時期・タイミングについて考えていく必要がある。

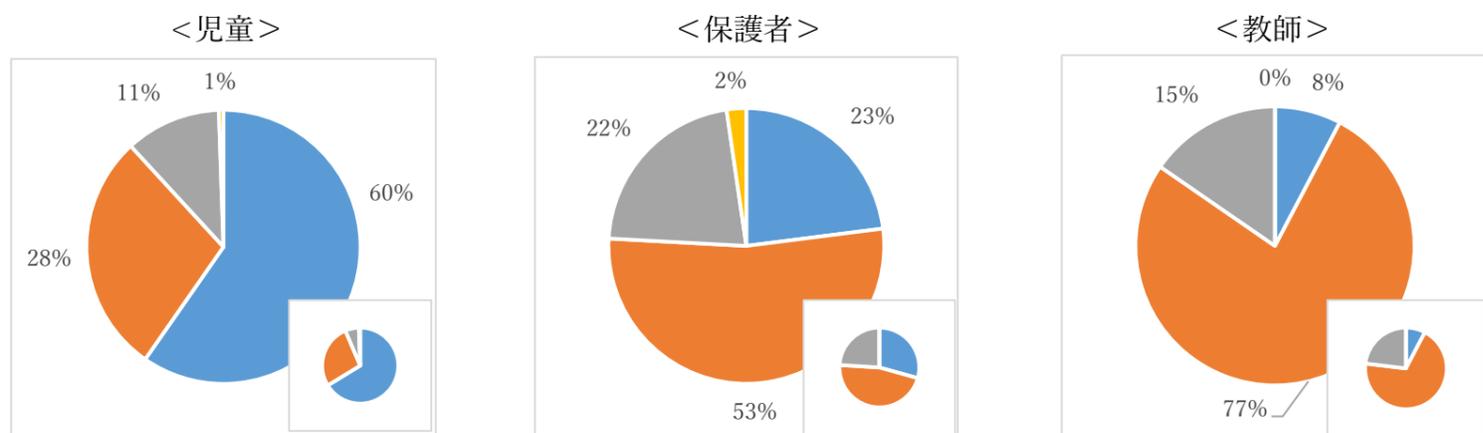
よく学び 自分で考え 誠実に行動する子 ～校訓「ただしく」～

◇ 授業はわかりやすい。(児童・保護者) 分かりやすい授業に努めている。(教師)



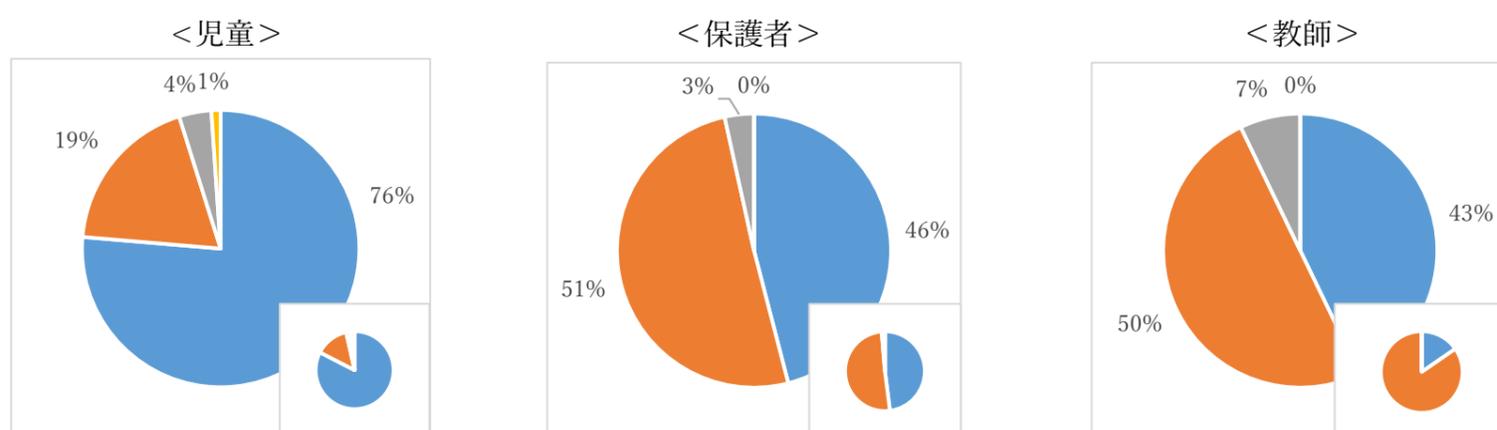
- ・ 3者とも肯定的な意見が9割を超えており、授業に関して満足の高さがうかがえる。
- ・ 教師の授業への努力意識が増した一方で、保護者の「とても思う」割合が、若干だが減っている。
- ・ 授業に不安を感じている児童が一定数いることを念頭に置き、今後も個別最適な指導を続けていく必要がある。

◇ 家庭学習の習慣が身に付いている。(児童・保護者・教師)



- ・ 約9割の児童は、宿題や自主学習をがんばっていると肯定的に捉えている。
- ・ 教師の肯定的に捉えた割合が増えた一方で、保護者はもう少し頑張ってもらいたいと考えていることが分かる。
- ・ 「あまりそう思わない」と捉えた保護者の割合が、他の質問項目に比べて高い。
- ・ 家庭学習の在り方について、3者の共通認識が必要である。

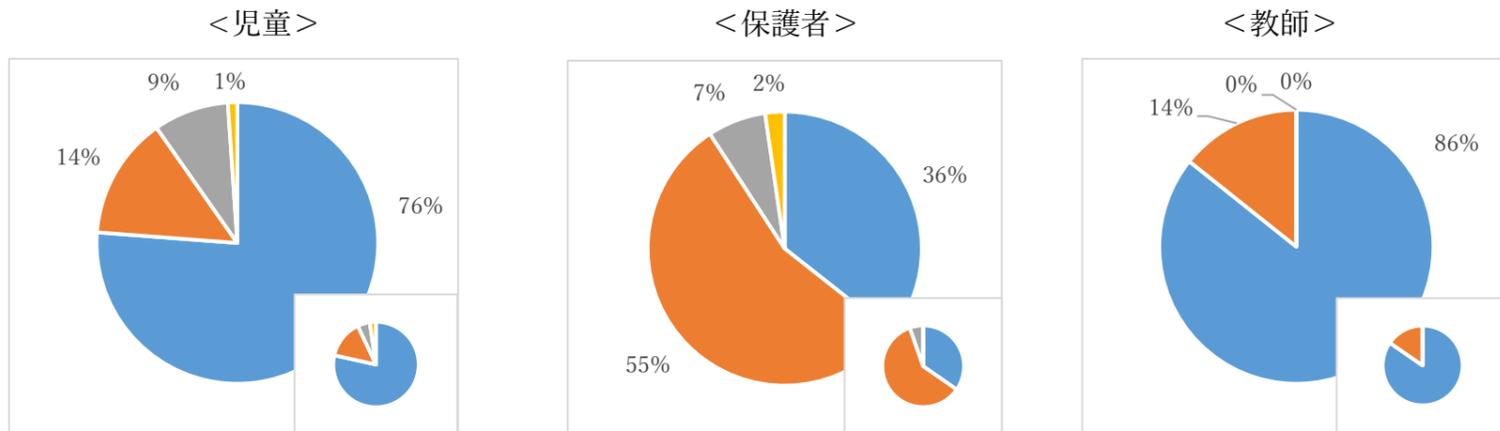
◇ ICT（情報通信技術）に親しんでいる。(児童・保護者・教師)



- ・ 3者とも高い肯定的な意見となっている。
- ・ 教師は、授業や各活動などでICTを活用することを意識してきたことが分かる。
- ・ 一方で、「あまりそう思わない」と思っている保護者・教師が一定数おり、前期に比べその割合が若干だが増えている。
- ・ 苦手意識を感じているであろうと思われる児童も一定数おり、支援や指導の必要がある。

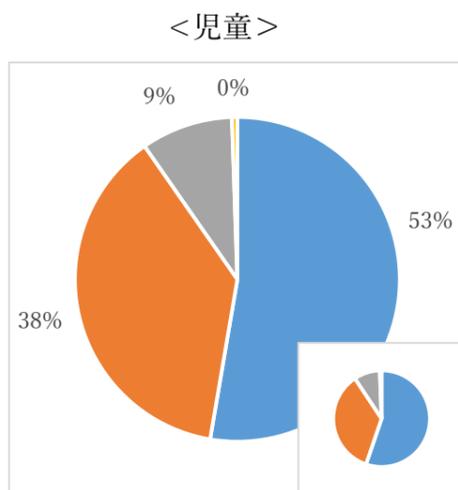
人を大切に思いやるやさしい子 ～校訓「うるわしく」～

◇ 友達をいじめたり、いじめられたりしていない。(児童) いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(保護者・教師)



- ・ 日々のトラブルの中で、児童の中に「いじめをした」「いじめられた」という認識を持っている児童が一定数いる。
- ・ 教師については、いじめは絶対に許さないという姿勢で取り組んできたことが分かる。
- ・ 各家庭の中で出てくる話題や内容について、不安を感じている保護者が一定数いることが分かる。
- ・ 不安を抱えている児童のケアに努めるとともに、いじめを許さない学校・学級風土づくりに一層努めていきたい。
- ・ アンケート後に、教育相談を実施している。今後も早期発見・早期解決に努めていきたい。

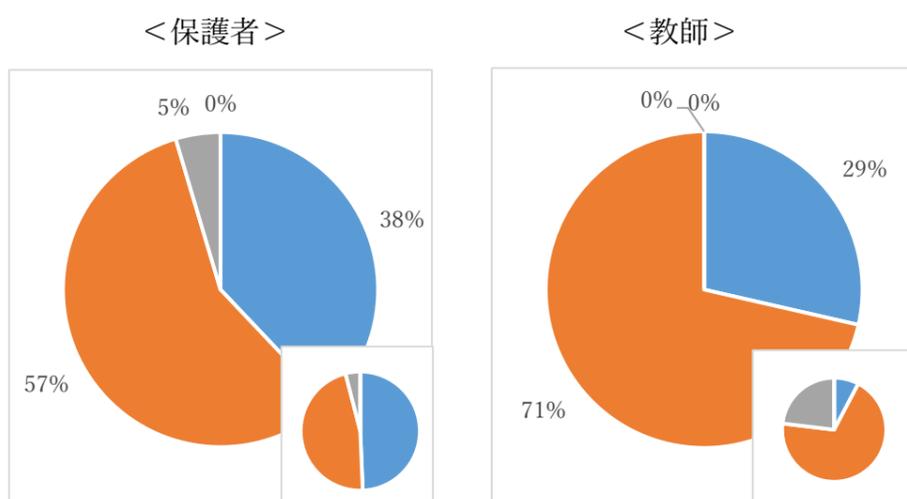
◇ きまりやルールを守っている。(児童)



- ・ 肯定的な意見が9割を超えている。
- ・ 児童は、きまりやルールを守ろう、守れていると意識・努力している様子が伺える。
- ・ 一方で、1割の児童は守れていないと感じている。(反省や課題意識を含む)
- ・ 後期は、遊び方やマナーについて問題となる事例があったので、今後も指導を続けていきたい。

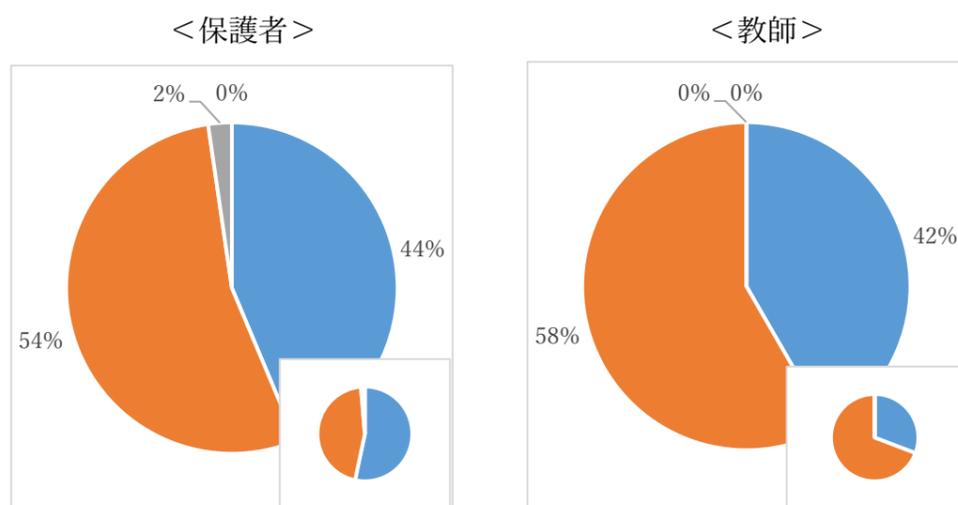
だれにとっても安心な学校 ～情報共有・行動連携～

◇ 校報やHP、学級通信等で、学校・学級の取組を積極的に発信している。(保護者・教師)



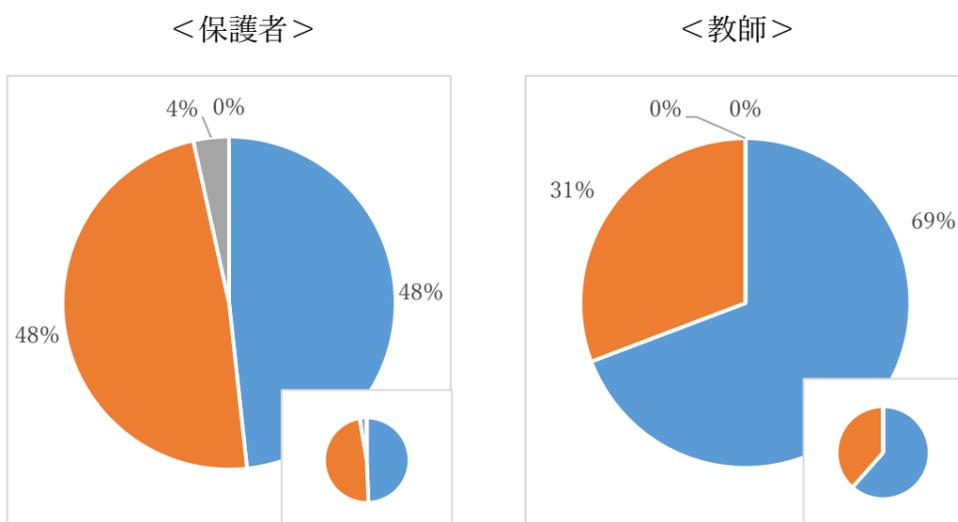
- ・ 教師側は、前期の課題を克服しようと努めた様子が窺える。
- ・ 保護者側には、情報の発信方法・回数・時期において、より満足度の高い発信方法を望んでいる方が一定数ある。
- ・ 発信方法や頻度について再考・周知する必要がある。
- ・ 業務のバランスを考えた情報発信を模索していきたい。

◇ 教室や運動場等の環境が整っている。(保護者) 教室や運動場等の環境整備に努力している。(教師)



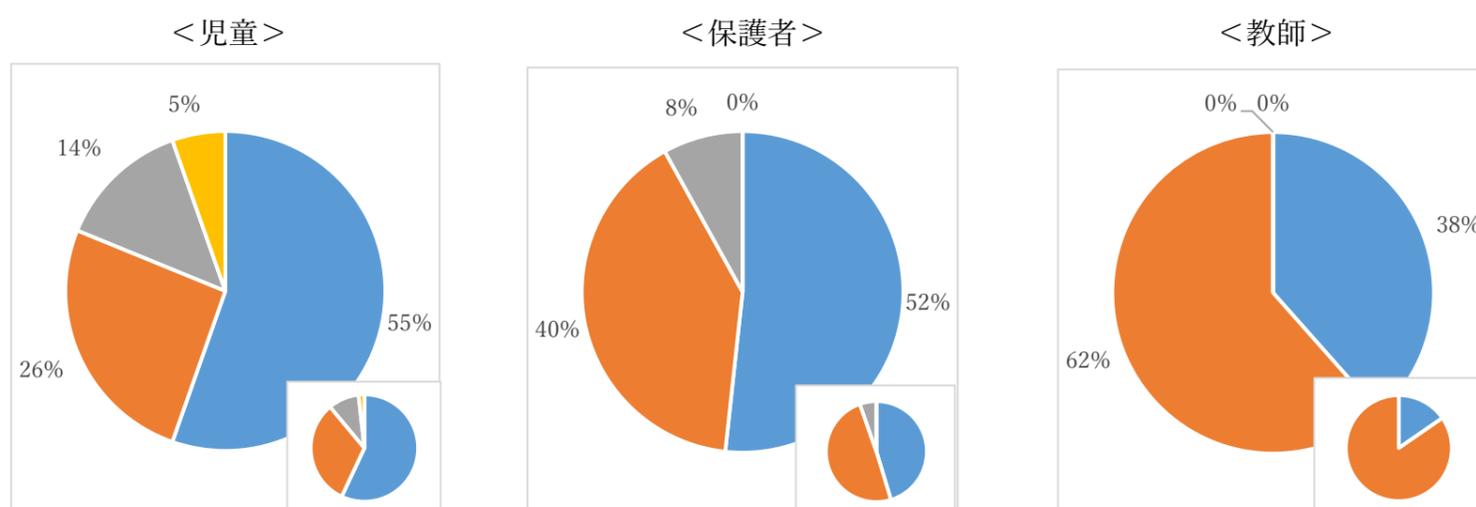
- ・ 2者ともに肯定的な意見が98%を超えている。
- ・ 引き続き、教室環境等の整備に努めていきたい。
- ・ 安全面にも留意した環境整備に努めていきたい。

◇ 交通・生活・災害安全のための努力をしている。(保護者・教師)



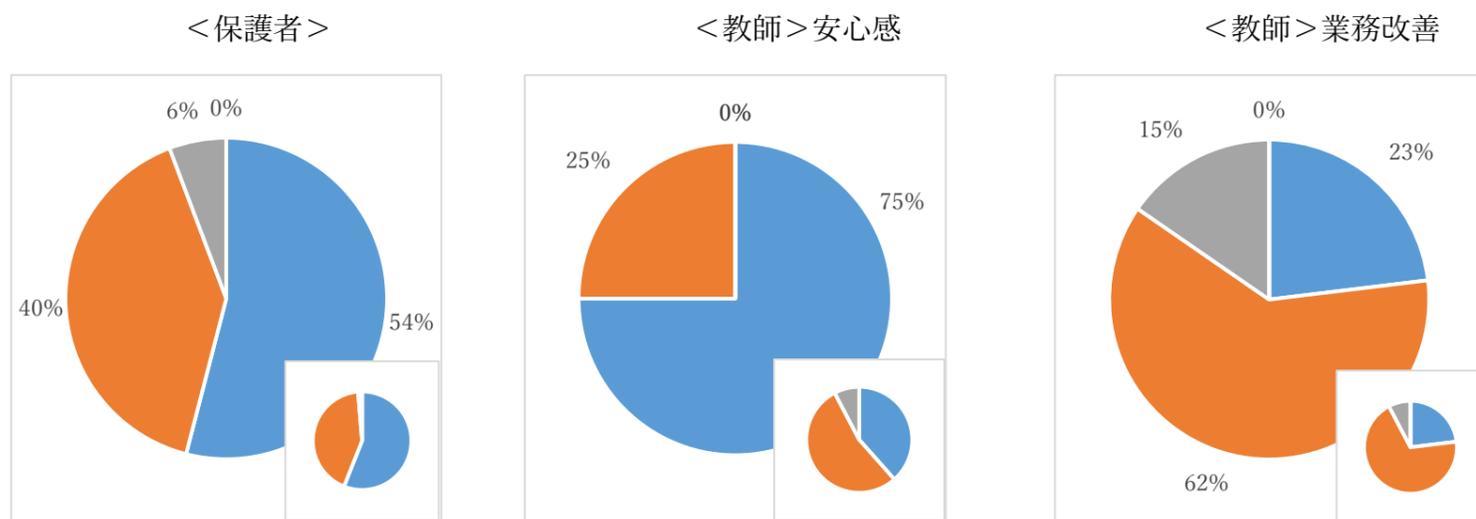
- ・ 2者ともに高い肯定率となっている。
- ・ 前期に比べ、教師の安全への意識が高まっている。
- ・ 若干の不安を抱えている保護者の意見も一定数あるため、引き続き安全・安心な学校になるよう努めたい。

◇ 先生や大人に相談できる。(児童) 学校は相談しやすい雰囲気だ。(保護者) 教育相談の充実に努めている。(教師)



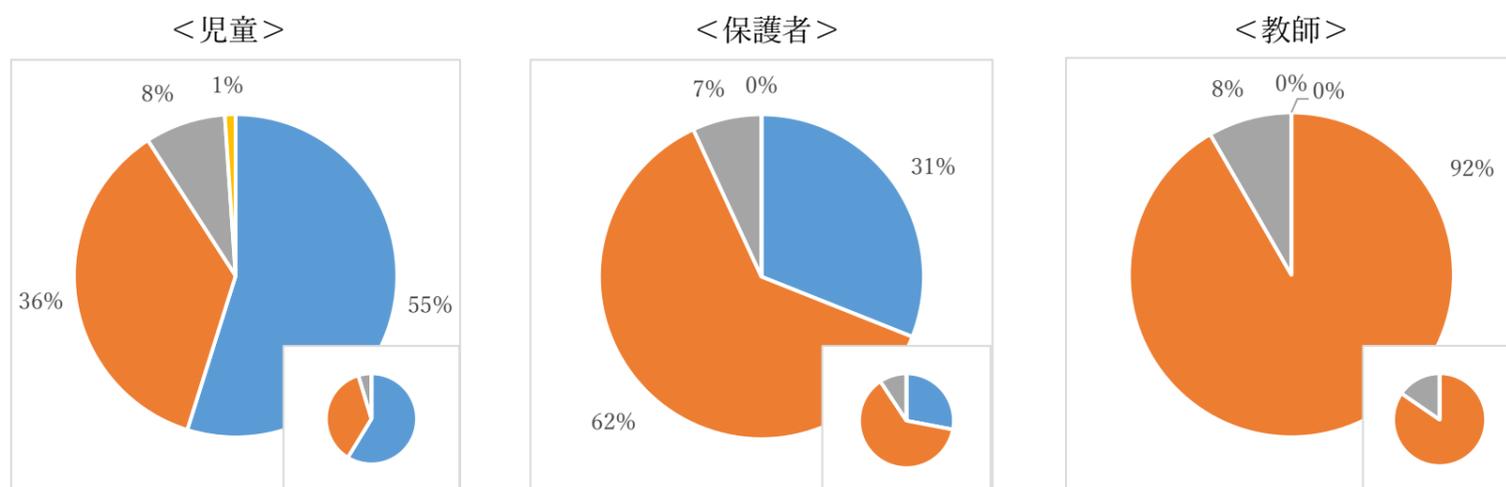
- ・ 保護者の「とても相談しやすい」割合が増加している一方で、「あまりそう思わない」割合が若干だが増えている。
- ・ 「おとなに相談しにくい」「おとなに相談できない」と感じている児童が約2割いる。また、「まったくそう思わない」児童の割合が増え、相談しやすい環境づくりや相談の仕方などを支援・指導する必要がある。
- ・ 教師は、教育相談の充実に努めてきたことが分かる。悩み等の表出の仕方について再考していく必要がある。

◇ 安心して学校に通わせることができている。(保護者) 安心感がある職場である。※業務改善を含む(教師)



- ・ 保護者については、ほぼ肯定的な意見となっている。また、半数以上が「よくあてはまる」と回答している。
- ・ 一方で、若干不安を抱えている方が増加している。災害に備えた取組みやいじめ・不登校にどのように対応していくかなど、機会を捉えて発信していきたい。
- ・ 業務改善については、バランスの取れた改善に努めるとともに、多忙の中でもやりがいを感じられる方策を考えていきたい。

◇ よく考え、行動し、判断している。(児童) 神山小の児童は「生きる力」が高まっている。



- ・ 3者とも9割以上が肯定的な意見となっている。
- ・ 児童については、若干だが否定的な意見が増加している。反省や課題について自ら考えている結果であると思われる。
- ・ 教師の「あまりそう思わない」割合が減っている。

<自由記述> ～保護者の方より～

- 行事内容変更が多くもう少し保護者の意見も聞いてほしい。 → 社会情勢や子供たちを取り巻く環境、行事の精選などによって行事内容を変更することがあります。事前の説明や周知時期などについては課題等を検討し、改善していきます。
- 運動会のリレーは、全員ではなく選抜の子のみにしてほしいです。 → 運動会の種目については、実施の意義などを検討して設定しています。様々な子が様々な場面で活躍できるような実施方法を模索し検討していきます。
- 遠足など、身近な王子の森公園でなく、バスなどで楽しいところに連れていってもらえたら、良いのになあと他の小学校からお話を聞いて羨ましく思いました。 → 今年度は春から気候の良い秋に変更し、各学年(学団)によって行き先を決める実施方法にするとともに、4年生以上は公共交通機関なども利用しました。全学年が子供たちが学び・遊べる場所を検討していきます。
- マラソン大会改善はとてもよかったと思います。6年生の講演会の参加する姿勢、雰囲気作り、登校中の挨拶、とても感じが良く、見ていて気持ちがいいです。あと、学校内の展示物の工夫にはいつも感動しています。校内の掃除が行き届いていて、とても気持ちいいです。担任はもちろん、その他の先生にも声かけやすい学校だと思うことがよくあります。
- こちらが言ったことにもすぐ対応して下さり、安心して預けることができます。いつもありがとうございます。 → ありがとうございます。温かい言葉を励みにし、これからも精進していきます。

御協力ありがとうございました。